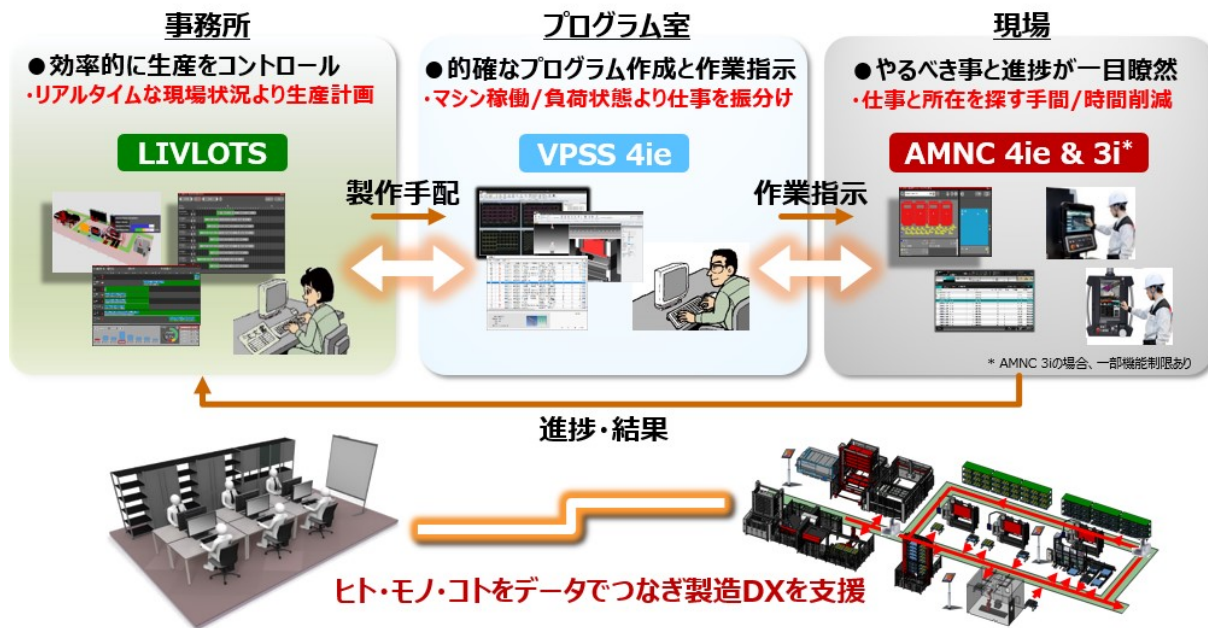


## 新製造 DX ソリューション「LIVLOTS」を販売開始



株式会社アマダ(神奈川県伊勢原市、代表取締役社長執行役員:山梨 貴昭)は5月9日に製造現場を支援する新たな DX ソリューション「LIVLOTS(リブロット)」の販売を開始しました。「LIVLOTS」は、お客さまの事務所やプログラム室、加工マシン、製造現場をシームレスにつなげ、工場全体で製品ごとに進捗や作業時間などをより正確に把握するなど、製造現場のデジタル化を加速し現場を支援します。

現在、世界規模で少子高齢化に伴う労働者不足や熟練技能の継承の問題に加えて、急速なデジタル技術の発展により製造現場での DX への対応が、金属加工業界でも喫緊の課題となっています。

「LIVLOTS」は、新しいCAD・CAM「VPSS 4ie」と、加工マシンを数値制御するNC装置「AMNC 4ie・3i」と連携し、ヒト・モノ・コトをデータでつなぎます。板金加工製品を製造するために必要な情報を、誰でも必要な時に確認でき、お客さま工場で最適かつ効率的な製造を可能にします。

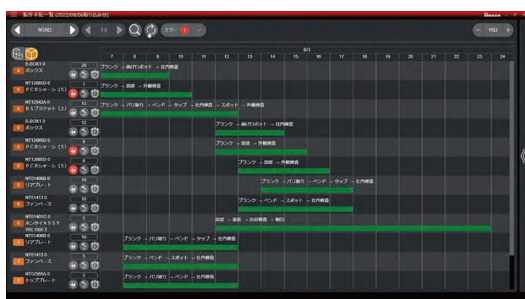
多種多様な生産活動における手間を削減し、経験の浅い人でも効率的に生産性の向上を図ることで、お客さまの課題に応えます。

アマダグループは、デジタル技術を駆使した工場全体の効率化や、自動化に対応する新たなテクノロジーとソリューションを開発することで、お客さま課題とニーズを解決し、モノづくりに貢献してまいります。

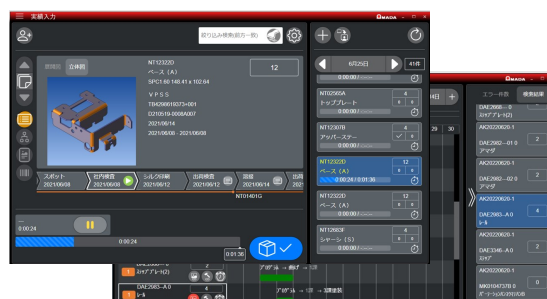
## ■「LIVLOTS」の主な特長

### 1. 「VPSS 4ie」と「AMNC 4ie・3i」との連携で正確な製造進捗や実績を把握

従来、生産管理システムの手配からプログラム作成、マシン操作は情報伝達を手配書や指示書などの紙を使用して作業していました。アマダグループは新しい CAD・CAM「VPSS 4ie」、マシンの NC 装置「AMNC 4ie」を開発し、「LIVLOTS」で情報を連携させることで製作手配情報を瞬時に伝えることを可能にしました。生産管理システムから手配をかけると、「LIVLOTS」を通じてプログラム室に手配情報がリアルタイムに伝わります。プログラム室では手配情報と加工マシンの負荷を確認してプログラムを作成、加工マシンへの指示として現場に送られます。現場では、作業の一覧を加工マシンの操作パネルでも確認でき、さらにそれが優先度順に表示されるため、特急品の見落としも防ぎます。これにより、工程ごとの仕事の流れを可視化でき、従来よりもスムーズなデータの連携が可能になりました。



全行程の製作手配情報を表示



各工程の作業内容に分解して指示、進捗管理

### 2. 製造状況や加工マシンの状態を把握

お客さま工場の製造状況や、負荷状況を全体的な視点で分析・可視化し、工程や設備ごとに作業量の把握や着手、完了情報から工場全体の進捗管理が可能になります。そのため、現場の進捗状況に応じて生産計画を調整できます。また、マシンを使わない工程も簡単に実績値を入れることができ、製品原価の把握ができるため、過去に作成していればその原価が表示され、見積との実績比較が可能です。

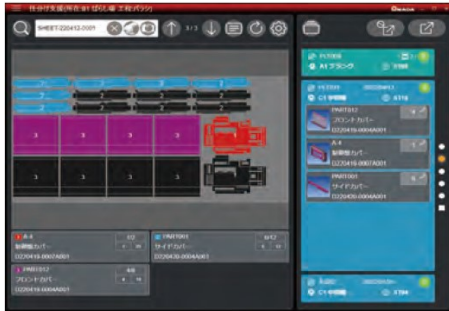
さらに、各製品・マシン工程ごとの CO2 排出量を可視化できるため、カーボンニュートラルに向けたモノづくりをサポートします。



工場を全体的な視点で分析・可視化

### 3. 加工後の仕分け作業を効率化

仕分け場ではタブレット端末から、ブランク加工済みのシート一覧を確認でき、シートを選択すると、パーツごとに色分けして表示します。パーツはパレットと台車を紐づけて登録できるため、次工程以降パーツが工場のどこにあるのか容易に確認でき従来のように部品を探したりする手間がなくなります。



パーツごとに色分けして表示

- ◆ 販売開始時期      2023 年 5 月
- ◆ 年間販売目標      100 台／年
- ◆ 販売価格（税別）    900 万円

※本リリースに記載されている情報は、予告なしに変更される可能性があります。予めご了承ください。

以上